

# 令和二年度 全国納税貯蓄組合連合会優秀賞

## 「税金というものの大切さ」

田原本町立田原本中学校 三年 古川 裕貴

世の中では、最近、新型コロナウイルス感染症が大流行しています。緊急事態宣言が発令されたこともあり、経済が悪化している中で様々な支援策がとられており、僕は、税金によって皆の生活が支えられている事を目の当たりにしました。

そこで、新型コロナウイルス感染症に関わる国や町の支援策について調べてみました。国としては、一人につき十万円の特別定額給付金、子供一人につき一万円の子育て世帯への臨時特別給付金、マスク配布などが支援されています。また、田原本町としては、水道料金の減免、給食費の免除、小・中学校のタブレット端末の整備、保育料の免除などが支援されています。それから、東京都では、新型コロナウイルス感染症患者受け入れの医療機関に支援金を支給する事を決めました。なぜなら、新型コロナウイルス感染症の入院患者を受け入れた都内の医療機関から、通常の患者の診療や入院を断るなどして収入が落ち込んだり、院内での感染症対策を整える費用がかさんだりして、経営を圧迫しているという声が寄せられたためです。僕は、納税から支援される内容は、都道府県や市町村によって異なる場合があることを知りました。また、国民が声を上げる事で、支援策や政治を改革できるのだと感じました。

なぜ、僕達は、税金を納めなければならないのでしょうか。納税は、日本国憲法上で勤労、教育の義務と並ぶ、三大義務の一つとして挙げられています。僕は、税について学習する事により、僕達が、国に納めている税金は、「公共サービス」や「公共施設」、そして、国民一人一人の生活にとっても役立てられている事を知りました。僕が通っている中学校も国税で支えられています。国税は、僕達の教育費を数十万円賄ってくれています。もしも、この国税がなかった場合、僕達は教育費や医療費など、高額なお金を払わなければいけなくなってしまいます。そして、貧富の差や情報格差が大きくなってしまいかもかもしれません。

だから、僕は、税とは、「人々の安全や生活を守るためのお金」だと解釈しています。国民が税の必要性、大切さを理解し、政治に参加したり、国を支えるために納税する事は、民主主義の基本であると、知りました。また、国の財政は、大きく役割を三つに分けると、公共サービスや社会資本を提供する役割。所得の開きを縮める役割。景気の動きを整える役割があります。これらは、国民一人一人が公正に救われるために必要不可欠だと、感じました。コロナ禍の今こそ、感染拡大を防止しつつ、経済を安定させる事が重要だと、言われています。僕は、納税する事は、日本全体を豊かにしてく事に繋がるのだと思いました。だからこそ、僕は、税を納める事を大切に考え、社会に貢献していこうと、実感しました。